

スポーツバック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 注意

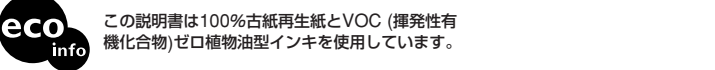
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SPK-THB

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/



必ずお読みください

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- 万一スポーツバックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルスチルカメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

主な特長

- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-T5専用のスポーツバックです。
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深3 m以内）また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。

防水パッキンのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。必ず確認したあとに、ご使用ください。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
- 故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する**



警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⊘ 禁止

行為を禁止する記号

⚠ 注意

行為を指示する記号

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

⊘ 禁止

取り扱い上の注意

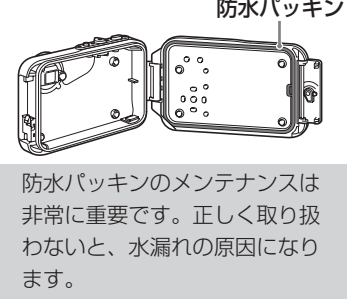
- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツバックの開閉はできるだけ避けてください。デジタルスチルカメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- スポーツバックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 40℃を越える温水の中
 - 0℃以下の場所

- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
 - スポーツバックに長時間収納して使用していると、デジタルスチルカメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、デジタルスチルカメラを本機から取り出してください。
 - スポーツバックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、スポーツバック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。
 - 高温多湿な場所
 - 40℃を越える温水の中
 - 0℃以下の場所
- 結露、水漏れ、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を超えるときのご使用は、連続30分以内に行ってください。
 - デシタルスチルカメラを出し入れする際は、落下しないように充分ご注意ください。

防水パッキンの取り扱いかた

防水パッキンとは？

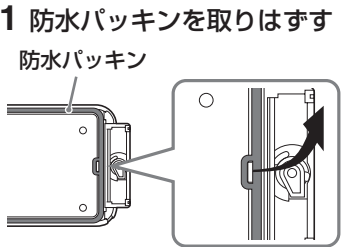
防水パッキンを使ってスポーツバックなどの機器の防水性を保ちます。



防水パッキンの取り扱いかた

防水パッキンを取り付ける

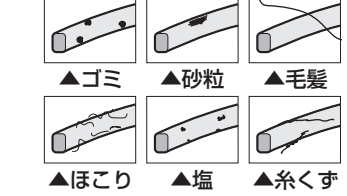
防水パッキンの取り付けは、砂やほこりのない場所で行ってください。



- 防水パッキンを取りはずすときは、図の矢印方向につまみ上げると、簡単に取りはずすことができます。
- 防水パッキンを取りはずす際、爪によって防水パッキンを傷つけないようご注意ください。
- 先のとがったものや金属などは、スポーツバックの溝や防水パッキンに傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。

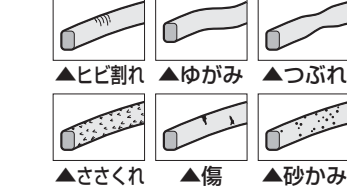
2 防水パッキンを点検する

- 以下の点を充分確認して、柔らかい布かティッシュペーパーで必ず取り除いてください。
 - ーゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか
 - ー古いグリスが残っていないか



- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。

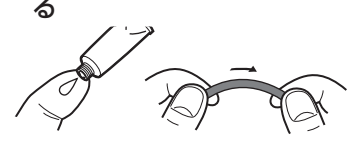
- 防水パッキンを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
- 防水パッキンにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。



- 3 防水パッキンの溝を点検する
- 砂粒や乾いて固まった塩が入りこんでいる場合があるので、エアースプレーで吹き飛ばしたり、綿棒を使って、丁寧に取除いてください。綿棒の糸くずがはいらないように、ご注意ください。

4 防水パッキンの反対側の接触面も同様に点検する

5 防水パッキンにグリスを塗る



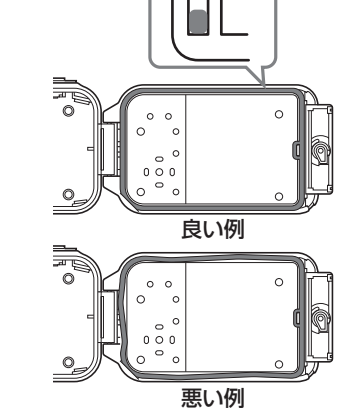
- 上の図のように防水パッキンに米粒大のグリスを、指の腹で全体に薄く均一に塗ってください。
- 紙や布は、繊維が付着することがあるので、使わないでください。
- 防水パッキンの表面には、いつも薄くグリスがついているようにしてください。グリスは防水パッキンを保護し、摩擦を防ぎます。
- グリスを塗り終えた防水パッキンは、机上などに置かず、そのまま溝に取り付けてください。

6 防水パッキンを溝に取り付ける

以下の点に注意して、防水パッキンを溝に均等に入れてください。

ー防水パッキンにゴミなどが付着していないか

ー防水パッキンがねじれていないか



水漏れの確認方法

防水パッキンの交換後は、ご使用の機器を収納する前に、スポーツバックを閉じて、水中（約15 cm）に約3分間沈めて、水漏れがないことを確認してください。

お手入れ

防水パッキンの溝に海水が入ったまま乾燥してしまうと、塩の結晶ができてしまい、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がでたら、新しいものと交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

防水パッキンの耐用年数

スポーツバックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。傷やヒビがなくても変形や摩擦により、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がでたら、新しいものと交換してください。

グリスについて

グリスは付属のグリスをお使いください。他社のグリスを使うと、防水パッキンを傷めて、水漏れします。

くもり止めリキッドについて

スポーツバック前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり止め防止に効果があります。

- くもり止めリキッドの使用法
- フロントガラスのガラス面の内側に2～3滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等でクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

防水パッキン、グリス、くもり止めリキッドのお問い合わせ（ご購入について）

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

防水パッキン（番号2-591-534-01）

グリス（番号2-582-620-01）

くもり止めリキッド（番号3-072-039-01）

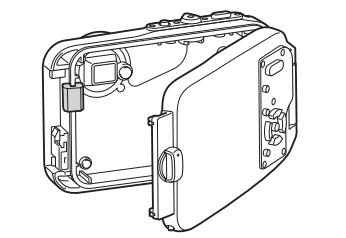
お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- スポーツバック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはスポーツバックご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- 防水パッキンの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- 防水パッキンの劣化を防ぐため、ボディーを閉じたあとバックルは締めないでください。
- 防水パッキンにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟腦などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。

それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。

それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではスポーツバックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

お問い合わせ窓口のご案内

■テクニカルインフォメーションセンター

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

●ナビダイヤル・・・☎0570-00-0066（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

●携帯電話・PHSでのご利用は・・・0466-38-0253（ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください）

受付時間：月～金曜日 午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日 午前9時～午後5時

お電話される際に、本機の型名（SPK-THB）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 デジタルスチルカメラのストラップをはずす。
- 2 バッテリーを入れる。
十分に充電してあるバッテリーを入れてください。
- 3 “メモリースティック デュオ”を入れる。
- 4 デジタルスチルカメラのレンズカバーを開けて電源を入れる。
レンズカバーを開けるときは、レンズに触れないようにご注意ください。
- 5 デジタルスチルカメラの液晶画面を「ON」にする。
デジタルスチルカメラのモードスイッチを「」にしてレンズカバーを開けて電源を入れると、液晶画面が「ON」になります。
- 6 デジタルスチルカメラの各設定を「オート」にする。
- 7 デジタルスチルカメラのAFイルミネーターを「OFF」にする。
AFイルミネーターは使用できません。
- 8 デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

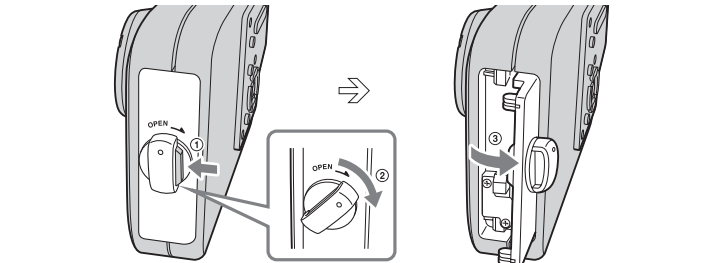
- ## ハンドストラップを取り付ける
- ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

フロート

デジタルスチルカメラをスポーツバックに取り付ける

- 1 デジタルスチルカメラのPOWERボタンで電源を「OFF」にする。**
デジタルスチルカメラのモードスイッチを「」にする。

- ## 2 スポーツバックを開ける。



- ### 3 スポーツパックの準備をする。

「防水パッキンの取り扱いかた」を必ずお読みください。

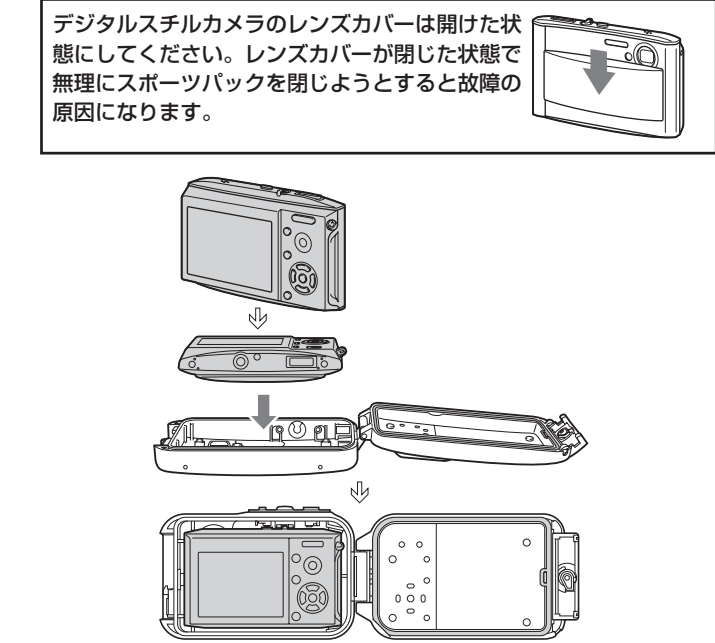
防水パッキンのメンテナンスおよび、取り扱いについて重要な説明が書かれています。

- ① 防水パッキンを取りはずす。
- ② 防水パッキンにグリスを塗る。
防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに
取り除き、防水パッキンに薄く均一にグリスを塗る。
- ③ 防水パッキンを取り付ける。

- 4** スポーツパックのモード切り換えスイッチをイラストのようにセットする。



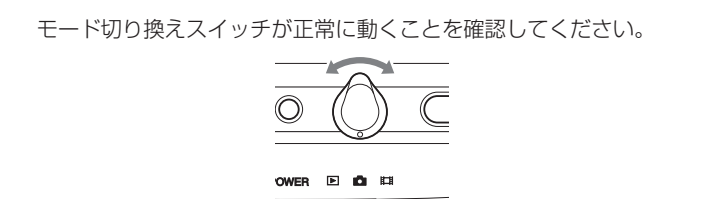
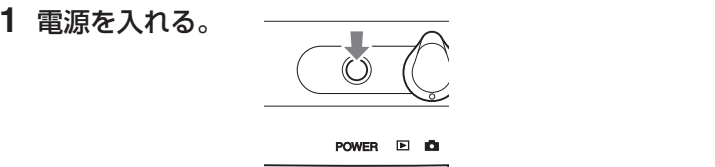
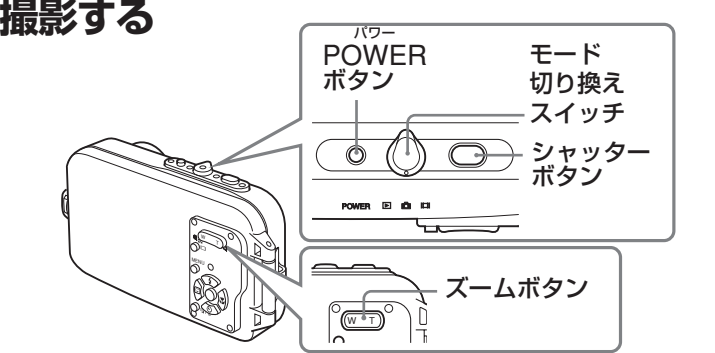
- ## 5 スポーツバックにデジタルスチルカメラを取り付ける。



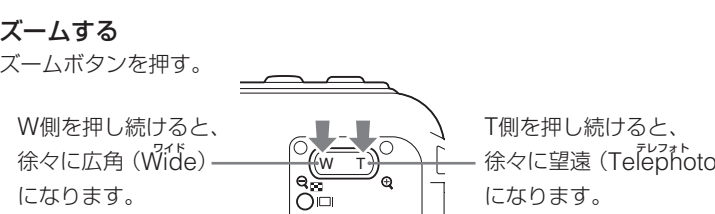
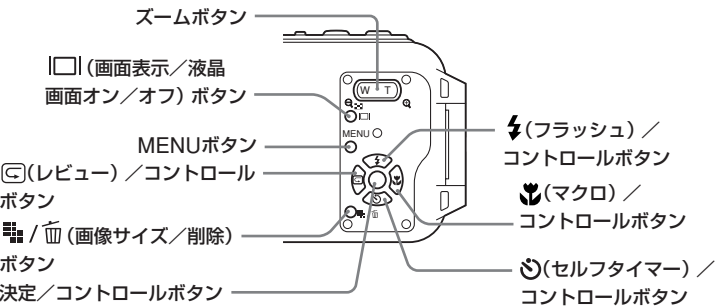
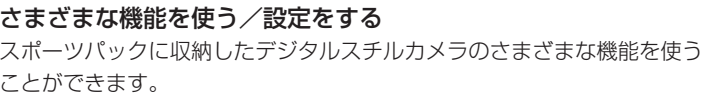
- 6 ボディーを閉じて、バックルを締める。**
ボディーをしっかり押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。



スポーツバックを使う



- モード切り換えスイッチをスライドさせると、次の順にモードが切り換わります。
- 
- 各モードについては液晶画面で確認してください。
- ## 2 モード切り換えスイッチを希望のモードに合わせる。
- 液晶画面を見ながら撮影できます。
- 静止画を撮影するとき…スポーツバックのモード切り換えスイッチを「」にする。
- 動画を撮影するとき…スポーツバックのモード切り換えスイッチを「」にする。
- 動画撮影時、音声記録することはできません。
- 詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。



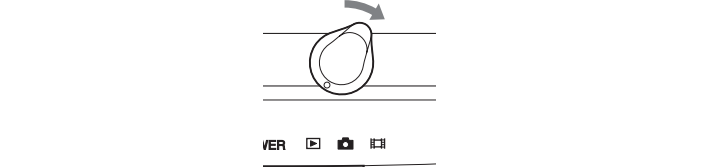
ご注意

- スポーツバックをお使いになりフラッシュ撮影をした場合、撮影距離が短くなります。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

コントロールボタンを使って画像を見る

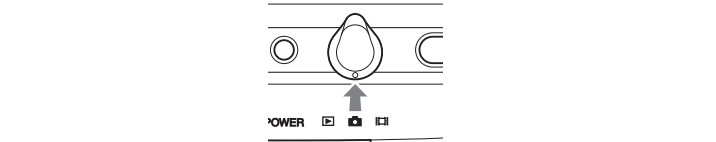
デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

- 2 モード切り換えスイッチを「」にする。**



デジタルスチルカメラを取りはずす

- 1 電源を切る。
- 2 スポーツバックのモード切り換えスイッチの位置をイラストのようにセットする。



- 3** スポーツバックを開ける。
- 4** デジタルスチルカメラを取り出す。
- 長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

- デジタルスチルカメラを取り出すとき、落下しないように充分ご注意ください。

ご注意

スポーツバックを開けるときは、スポーツバックと体についた水分を十分に拭き取ってから開け、水滴が内部のデジタルスチルカメラにかからないようにしてください。